

ワンアクションで 浦里から世界を変えよう



名古屋市立浦里小学校 校長 金森 靖彦

〒 458-0847 名古屋市緑区浦里1丁目77番地

TEL 052-892-7610 FAX 052-892-0438

URL <https://www.nagoya-c.ed.jp/school/urasato-e/>

事業のねらい

自分たちと全く違った環境で生きる人たちのことを知り、その生活を想像するなどして、毎日ご飯が食べられること、学校に行って勉強ができること、水道の水が飲めることは当たり前のことではないことに気付かせます。自分たちの当たり前とっていたことが、本当は当たり前ではないことに気付いた児童は、自分たちができる「ワンアクション」を見付け行動できるようになると考えました。

事業内容

① 世界の様々な課題を知る

環境サポーターを招き、全校放送で「ゾウの森とポテトチップス」の絵本から、SDGsについて話をしていただいたりSDGsカルタをしたりして、世界の様々な課題を知りました。

② 行動宣言を決め、実践をする

各学級で行動宣言をし、実践を行いました。

2年生では実践番号⑫「つくる責任 使う責任」を選択し、「浦里産肥料でおいしい野菜をつくろう」と宣言しました。給食の調理過程で出る野菜の皮やくずを毎日もらい、コンポストで肥料に変えました。それを学級園で使い、野菜を育てました。また、環境委員会は水やりに雨水タンクの水を使用しました。



【生ゴミコンポスト】【雨水タンク】

③ 折り鶴アートに挑戦

全校で1万羽の鶴を折り、モザイクアートで浦里小学校のSDGs推進のシンボルを作りました。一羽の小さな鶴から大きな作品ができることをSDGsのワンアクションと結び付け、浦里小学校から世界を変えることができる可能性とつなげることができました。



【折り鶴アート】

事業の成果

11月アンケート調査 ワンアクションは大切…98% ワンアクションすることができた…88%

児童の感想 ぼくたちの行動が人を救えるから、これからもワンアクションを続けたいです。

講話を聞いたり、折り鶴アートに挑戦したりして一人一人の意識が大事だと思いました。

事業のまとめ

「ワンアクションで浦里から世界を変えよう」のテーマの基に、行動をしました。一人の力は微力でも、みんなで毎日続けると大きな力になることに気付きました。ワンアクションを積み重ねれば世界が変わるという強い実感をもたせることができました。今後も、人、ものを大切にして未来を創造する子どもたちを育てていきたいと思います。